

低コスト起業法

～知らないで損する？起業の現場でかかるコストを徹底的に削減する方法。登記からプロバイダー、レンタルサーバー、税理士選び、名刺まで～

目次

1. お得な法人登記の仕方について
2. 法人の印鑑はどこで作る？
3. 手数料を削減するおススメの銀行（口座開設の仕方）
4. 名刺の印刷コストはこんなに削減できる
5. コストを抑えるパソコンの買い方
6. マイクロソフトオフィスはこんなに高い！
7. ビジネスホン、複合機はリース？中古？レンタル？
8. プロバイダーのコストもばかにならない
9. IP電話、ソフトバンクはNTTよりこんなに安い！
10. お得なドメインの種類と取得先
11. 激安レンタルサーバーの驚くべき安さと注意点
12. 人から紹介された税理士はダメ？
13. 最強の無料WEBメール&グループウェア
14. 人数別おススメ事務所とは？
15. 安いオフィス家具の購入先とは
16. 助成金ってこんなにももらえるの？！
17. コストシミュレーション
18. 個人事業がお得？！～番外編～
19. 終わりに

起業時の資本金はほんとに大事な資金です。成功するかどうか、まだわからない状態の中で、不要なコストはとにかく削って、運転資金や設備投資に回したいですね。

弊社は小規模オフィス専門不動産会社として、毎月5社程度の開業お手伝いをする仕事を5年ほど行ってきました。その中で蓄積した、コストを徹底的に抑えたノウハウをまとめて、「**低コスト起業法**」としてご紹介いたします。

無駄なコストは徹底的に省き、事業の成功確率を高めて頂ければと思います。

(注) コスト削減の方法には、会社によっては、手間が増えて逆効果の場合や、スタッフの意欲減退となるようなデメリットとなるケースもあります。この本ではたくさんのコスト削減方法を紹介いたしますが、あなたの方で取捨選択をして頂ければと思います。

(1) お得な法人登記の仕方について

1. 自分でやるのか、頼むのか？

法人を登記する際にかかる費用は、以下の表をご覧ください。

	自分で行う場合	専門家に頼む場合
定款認証手数料	¥50,000	¥50,000
印紙代	¥40,000	¥0
登録免許税	¥150,000	¥150,000
登記簿謄本取得	¥1,400	¥1,400
専門家への報酬	¥0	¥50,000
合計	¥241,400	¥251,400

実は、電子認証という制度があり、専門家は登録をしているため、印紙代がかからずに、法人登記が可能です。そのため、専門家に頼んでも、自分でやってもそれほどコストは変わりません。

そのため、法人登記は任せた方がお勧めです。

2. 誰に頼むのか？

法人登記は、司法書士か行政書士に頼むことになります。違いは、法務局への提出までやってもらえるのが司法書士、書類作成のみで提出は自分で行わなければいけないのが、行政書士です。

ネットで「法人登記」と検索をすると、かなりの数がでてきますし、中には報酬を0円でやります！とうたっているところもあります。こういうところの多くが税理士の顧問契約をセットにしているので、無料で行っています。

税理士を頼もうと思っている方であれば、検討してもいいと思います。
税理士選びに関しては、あとの章でまた紹介します。

3. 手数料の相場は？

法人登記が高いか安いかは、登録免許税、定款認証手数料は下がりにませんので、「手数料」の金額で判断します。司法書士、行政書士の手数は5万円前後のところが多いようです。しかし、低コスト起業法では、5万円の報酬は高いと判断します。

ネットでいろいろと探すと、以下の2つが最も安いコストで法人登記が可能なサービスを提供していました。

「[開業ドットコム](#)」・・・行政書士が運営しているサイト。9900円から。

「[会社設立代行専門](#)」・・・条件がいくつか付きますが、9800円から。

これらのサービスは、安い分、きめ細かに相談をしたりということができませんし、登記までに若干日数がかかります。会ってきちんと相談をしたい、ということであれば、以下のところがお勧めです。

「[アトラス総合事務所](#)」29400円から。渋谷にオフィスがあります。

ということで、法人登記の手数は出して3万円までに抑えましょう！！

(総額で約23万円程度まで)

また、時間的余裕があるならば、1万円以下の手数料で登記も可能です。

(総額で約21万円程度)

(2) 法人の印鑑はどこで作る？

法人の印鑑は、主に「法人印（実印）」「角印（請求書、領収書に押す用）」「銀行印」の3本セットで購入するのが一般的です。相場は2万円弱くらいでしょうか。

気を付けたいのが、印鑑ケースです。後からぴったりの印鑑ケースを探すのはかなり大変なので、必ずケースもセットになったものを買うようにしましょう。



こちらで調べたところ、もっとも安かったのは以下の印鑑屋です！

「E-HANKOYA.COM」・・・ケース入りで3本セットが5,540円から。
<http://www.e-hankoya.com/>

印鑑セットはケース付き、3本で6,000円程度に抑えましょう！

ちなみに、組合せゴム印も相場が1行1000円程度なのですが、ここだと、698円から販売していますので、お得です！

組合せゴム印→



(3) 手数料を削減するオススの銀行（口座開設の仕方）

銀行口座の開設ですが、お勧めはメインの銀行と振込み用のネットバンクの2か所に口座を開設する方法です。

1. メインの銀行

売上入金用の口座です。事務所近辺の大手都銀や地銀に作ります。
ちなみに、ネットバンキングは必須のサービスだと思いますが、実はみずほ銀行が高いので、みずほ銀行は避けましょう。

	初期契約料	ネットバンキング利用料(毎月)
みずほ銀行	¥25,000	¥5,000
三菱東京UFJ銀行	¥0	¥2,100
三井住友銀行	¥0	¥2,100
りそな銀行	¥0	¥2,100

2. 支払振込み用のネットバンク

振込み手数料が都銀、地銀と比べて格安なので、支払いが多い会社ほどお得になります。お勧めは、「[楽天銀行（旧イーバンク銀行）](#)」です。

振込み手数料は格安の

他行あて3万円未満160円、3万円以上250円。毎月の基本料も無料。

以下、法人口座が開設できるネットバンクの比較表です。

	口座維持手数料	他行あて3万円以下	他行あて3万円以上	振込先自動表示
住信SBIネット銀行	¥0	¥160	¥250	△(自行のみ)
楽天銀行	¥0	¥160	¥250	○
ジャパンネット銀行	¥189※	¥168	¥262	○
三菱東京UFJ銀行	¥2,100 ネットバンキング利用料	¥315	¥735	△(自行のみ)

※残高10万円以上 or 月に2回振り込みで無料

コストを考えると、住信 S B I ネット銀行か、楽天銀行がおすすめです。
その中でも、楽天銀行をお勧めする理由は、ネットから振込む際に、振込先の名前が自動で表示させられるサービスを行っているからです。

大手都銀だと、振込み手数料は銀行によって異なりますが、他行あて 3 万円以上だと最大 840 円かかりますのでかなりお得です！

(4) 名刺の印刷コストはこんなに削減できる

名刺の印刷料金も、高いところと安いところがあります。
名刺はできればデザイナーにデザインをしてもらう方がカッコいいものですが、低コスト起業法では、そういうところはおいておいてコストにのみ注目していきます！

名刺の印刷では、[Adobe のイラストレーター](#)を持っていれば、データをこちらで作成して発注するだけで、かなりお得になります。

「東京名刺ランド」

<http://meishi.tokyo-print.jp/>

こちらのサイトでは、片面カラーの名刺が 100 枚で、840 円です。イラストレーターがない人には、専用のデータ入稿ソフトも無料配布。無料で名刺デザインテンプレートが豊富にダウンロード可能。

「株式会社ジャストコーポレーション」

<http://www.just-j.com/m.ishin/>

片面カラー 100 枚で 924 円からです。印刷会社なので、名刺以外も発注可。用紙も豊富に取り揃えてあります。ロゴマーク作成からレイアウトもまでかなり激安。数千円でデザインができます。

(名刺デザインの相場は 2 万円～5 万円です)

片面カラー印刷で 100 枚当たり、キンコーズだと 4200 円 (リピートの場合) なので、この差は大きいですね。他のネットで激安をうたっているところでも、通常 1500 円～2000 円程度のところが多いので特に東京名刺ランドはかなり安いです。